

令和6年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(総合型選抜)

小 論 文

(地域学部 地域学科 人間形成コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は3枚、下書用紙は3枚である。  
指示があってから確認することとし、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙及び問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

問題Ⅰ 次の英文は、最近のある教育問題について扱った新聞記事の一節である。文章を読んで、次の問1、問2に答えなさい。

The education ministry plans to ask public elementary and junior high schools to cut lesson hours from fiscal 2024 if they are confirmed to be significantly above the state-set standard.

In a move aimed at reducing the workload faced by teachers, the ministry intends to confirm the total number of classroom hours at all public elementary and junior high schools across the country by the end of the year.

① Measures have recently been taken to address the long hours that teachers in Japan face. For example, some schools are adding more staff to assist teachers in routine tasks such as printing handouts and receiving phone calls, and in other cases, private-sector staff are replacing teachers during extracurricular activities.

However, ② a teacher's main job has become increasingly busy. Pundits point out that the amount of classroom hours per teacher is also responsible for overwork.

The blanket inspection of lesson hours will be spelled out in a set of emergency proposals of work-style reform measures that will be presented by the Central Council for Education, the ministry's advisory panel, in August. The emergency proposals will precede a comprehensive package of measures to be compiled by the council next spring.

Japan's school curriculum guidelines set the standard of annual lesson periods per student at 1,015. Schools where per-student annual lesson periods are 1,086 or more will be asked to cut back. One period last 45 minutes at elementary schools and 50 minutes at junior high schools.

The requests to reduce classroom hours will be made in time for the curriculum compilation processes at each school for fiscal 2024, which starts in April next year.

注

fiscal : (会計) 年度, workload : 仕事量, pundit : 専門家, advisory panel : 諮問機関,  
comply : (命令、規則、法律などに) 応じる

出典

*The Japan Times Weekend*, aug.5-6, 2023, p.7

問1 下線部①の具体的内容について本文に基づいて答えよ。

問2 下線部②について、本文の内容を踏まえて、あなたの考えを400字以内で述べよ。

問題Ⅱ 以下は文化人類学者の辻信一<sup>つしけいち</sup>氏が書いた文章である。文章を読んで、問1、問2に答えなさい。

デジタル技術やAIといった最新のテクノロジーが、パンデミックの時代にいかに便利かという話ばかりがメディアに流れていて、ぼくはうんざりさせられている。だが、注意深く見ていると、科学者によるこんな意見に出合うこともある。コロナ禍で、対面のコミュニケーションが大幅に減って、その分、オンラインのコミュニケーションが多用されるようになったが、脳科学者の川島<sup>かわしまりょうた</sup>隆太によると、「オンラインでのコミュニケーションツールは、脳にとってはコミュニケーションになっていない。何もしていないときと同じだ」というのだ。

コミュニケーションに関わる脳の活動として、「相手の気持ちを思いやりながら行動する」という側面について研究しているという川島は、「自分自身のことではなく、相手のことを考えながら、相手が何を考えているのか理解する」という働きに注目する。彼とそのチームが新たに開発した脳活動センサーで見ると、「相手と良いコミュニケーションが取れている時には、お互いの脳活動の揺らぎが同期するという現象が起こる。脳活動がシンクロする」そうだ。ところが、オンラインのコミュニケーションでは、この同期が起こらない。つまり、それは、「共感状態にない、相手と心と心がつながっていないということの意味して」いるというのだ。

こういう共感しないコミュニケーションが多くなれば、「人と関わっているけれども孤独になる、という矛盾したことが起こってくるのではないか」と川島は推測している（朝日新聞デジタル）<sup>(1)</sup>。

これは、ショッキングな報<sup>は</sup>せだ。ぼくたちは安易に、コミュニケーションとは情報伝達のことだと決めつけていないだろうか。その情報伝達という目的を達するために、より効率的な手段であるテクノロジーを次々に開発してきたわけだ。その道を先へと進んでいけば、しまいにはどこに行き着くか。本来のコミュニケーションに伴ういろいろな要素をムダなものとして、次々に取り除いていって、しまいには、裸になった情報伝達だけが残る…。

対面のコミュニケーションには、無数の要素が関わっている。対話者を取り巻く状況そのものが無限に複雑だということは、いまはカッコに入れておこう。それでも、「情報を伝達する」という活動は身体の多様な機能を駆使して行われる。常に、相手の気持ちをおもんばかりとか、相手の身になって考えるとか、相手の言うことに反応し合って理解を深めるといった心理的な働き、そしてそれに伴う目や唇などの顔の動き、手や首などの身体の動きなど、これまた限りない豊かさを秘めている。

特に川島が注目するのは、視線だという。Zoomのようなオンラインでのミーティングで顔を合わせていても、対面のときのように、視線がコミュニケーションの重要な要素となることは難しい。また、マスクを常につけることについては、「表情が乏しくなった

り、感情が読み取りにくくなったりすることで、人の感情がくみ取れない子どもたちが増えていく可能性も高い」と、憂慮する。

川島はある大学の学生たちを対象とする研究の結果についてこう言っている。

<スマホに依存的な人たちの脳をMRI<sup>(2)</sup>などで見ると、大学生であっても、すでに脳の老化のサインが出ていました。そういう人たちは、様々な精神的、心理的な異常が出ていて、例えば自尊心が低かったり、不安や抑うつ傾向が高かったり、共感性や情動制御能力が下がったり、という状態が観測されています>

さらにもうひとつの研究では、仙台市の公立の小中高に通っている7万人の学力と生活習慣の調査データを収集し、解析したところ、「新型コロナによって、子どもたちの自尊心や自己肯定感がグッと下がってしまった」ことがわかったという。

大人たちがデジタル化の進展やオンライン・コミュニケーションの便利さを讃えているうちに、危機は深まっているのではないだろうか。テクノロジーは**もろは**の剣だ。それによってもたらされる便利さが、まさに禍のもとなのである。「一日も、一刻も早く、通常の人と人とのコミュニケーションが可能な社会に戻さなきゃいけないな、という強い危機感を持っています」と川島は言う。

#### 注

- (1) 「オンラインで心はつながるか 実は孤独に? 『脳トレ』川島教授の分析」朝日新聞デジタル、2022年1月17日。  
<https://www.asahi.com/articles/ASQ1D528BJQ16ULEI004.html>
- (2) MRIとはMagnetic Resonance Imagingの略称で、磁気の利用して体の臓器や血管を撮影する検査方法。

#### 出典

辻信一『ナマケモノ教授のムダのてつがく―「役に立つ」を超える生き方とは』さくら舎、2023年、94頁―96頁。

問1 著者の主張の主旨を300字以内で述べなさい。

問2 文章をもとに、これからのコミュニケーションの在り方について考え、600字以内で述べなさい。